

令和2年9月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和2年9月分について、輸出額は「重電機器」などが増加したものの、「自動車」、「金属加工機械」などが減少したことから、対前年同月比6.0%の減少となった。また、輸入額は「原粗油」、「液化天然ガス」などが減少したことから、同22.7%の減少となった。
 その結果、差引額は5,998億円（同7.0%の増加）となった。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による
 また、★印は全ての月を通じて過去最高を示す（1979年1月以降のデータを基礎として比較）

○総額

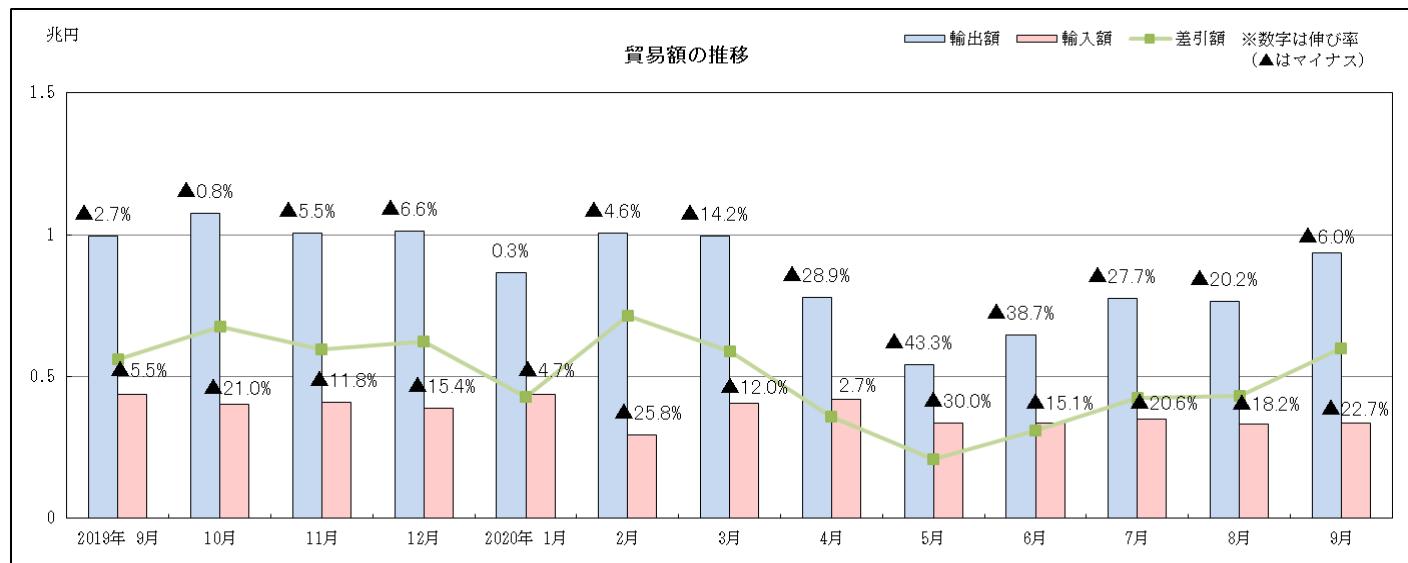
区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	9,364億円	▲6.0%	3,365億円	▲22.7%	5,998億円	+7.0%
	8カ月連続の減少		5カ月連続の減少		7カ月ぶりの増加	
管内（名港シェア）	1兆5,344億円 (61.0%)		6,359億円 (52.9%)		8,984億円 (—)	
全国（名港シェア）	6兆0,551億円 (15.5%)		5兆3,801億円 (6.3%)		6,750億円 (—)	

注) 名古屋港における輸出額は、5カ月ぶり 全国港別第1位（空港を含む）

注) 名古屋港における差引額は、平成23年6月以降112カ月（9年4カ月）連続 全国港別第1位（空港を含む）

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出增加(1)	重電機器	★ 302億円	+57.1%	+1.1	3カ月連続の増加
輸出減少(1)	自動車	2,404億円	▲16.2%	▲4.7	8カ月連続の減少
輸出減少(2)	金属加工機械	250億円	▲35.3%	▲1.4	16カ月連続の減少
輸入減少(1)	原粗油	126億円	▲68.3%	▲6.2	2カ月ぶりの減少
輸入減少(2)	液化天然ガス	174億円	▲48.8%	▲3.8	3カ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諫訪出張所（含長野政令派出所）西部出張所をいいます。